



近つ飛鳥

令和8（2026）年

4月27日

学校だより 5月号

家庭数

新年度がスタートして子どもたちは…

校長 山田 智一

登校の様子を見守っておりますと、さわやかな風とともに、家々の庭に咲くツツジの赤やモッコウバラの黄色が鮮やかで、本当に気持ちのよい季節になってきました。新年度が始まったばかりにもかかわらず、たくさんの保護者や地域の皆さまに子どもたちの登校を見守っていただいていることに、心より感謝申し上げます。

先日の授業参観・PTA 総会等にもご出席いただき、ありがとうございました。参観では、子どもたちは緊張したり、張り切ったりとさまざまな表情を見せていましたが、4月の様子を見ていても、新しい学びにしっかり向き合おうとする姿が多く見られます。このよい雰囲気のまま1年間を過ごしてほしいと願っています。

休み時間になると、運動場には元気に遊ぶ子どもたちの姿があふれています。先日、1・2年生が遊びに行こうと廊下を走っていると、5年生が「走ったらあかんで」と声をかけていました。大人が注意するよりもずっと効果があり、5年生の頼もしさを感じました。子どもたち自身が学校のルールや過ごし方について声を上げ、お互いにとって過ごしやすい環境をつくっていくことは、とても意義深いことです。こうした子どもたちの主体的な働きかけを、これからも大切にしていきたいと思えます。

4月は気を張って過ごす日々が続きましたが、まもなくゴールデンウィークに入ります。どうぞこの気持ちのよい季節に少しゆっくりしていただき、ご家族での時間を楽しんでいただければと思います。



スクールソーシャルワーカー です。
教育委員会から週1回ペースで各校を訪問しています。
(基本、近つ飛鳥小は月曜日です) どうぞよろしくお願いいたします。